

手作り! 天ぷらうどん



手作りうどん最高です! 腰があつて食感もいいです。天ぷらも揚げたてが美味い!



玄関掃除
帰りの時間が近づく、皆で掃除をして帰ります。玄関掃除、モップ掛け、テーブル拭きなどそれぞれが出来ることが行っています。



▼ピザ作り
畑でトマトを収穫したので、トマトソースを作つてピザ作りをしています。もちろん生地も手作ります。



▼くら寿司マグロ丼テイクアウト
折込広告を見て、明日はテイクアウトにしよう! ということで、昼食にマグロ丼を食べました。こんな食べられるなら毎日来るから! と大好評でした!



▼古布でミシンカバー
デイサービスのミシンはカバーがありませんでした。それを見かねた利用者様がミシンカバーを作ってくれました。



twitter

carestanakamach



Facebook

caresta.day



instagram

care.sta



作業療法士監修

一軒家“まるごと”生活リハビリ型デイサービス



生活リハビリとは？
ご自宅やデイサービスで、ご自分がしたいこと、できることを見つけて出し、生活動作として毎日繰り返すことで、身体的機能と認知機能の維持・向上を図ります。

テーブルを拭く、ご飯をよそう、配膳を手伝う、衣服の着脱を自身で行うなど、生活のなかのあらゆる場面で、ご利用者が現在できることは可能な限りご自身で行っていただきます。選択プログラムもご用意しております。そのことが、生活の質の維持・向上につながると考えるからです。

さらに、ケアスタ中町では、お一人おひとりのご利用者の心に潜んでいる「してみたいこと」を一緒に探し出し、そのことが実現できるようにサポートいたします。

□様々なプログラムがありますので、集団になじめない方でも対応できます。また、これまでの生活習慣を変えないように、料理や掃除、社会参加プログラムも用意しております。

認知機能や身体機能の維持・向上を図ることができます。

その方の生活の質の維持・向上が期待ができます。

「したいこと」を見つけ出すことで、意欲を引き出せます。



「面倒くさい」は認知症への第一歩？
新型コロナウイルス感染症の影響で、外に出る機会が減ってきているのではないのでしょうか？
コロナウィルスに気を付けていたく同時に、「フレイル（虚弱）予防にも十分留意していただきたい」と思います。

ケアスタ中町では、出来ることを行いながら新しいことに挑戦すること、で、「フレイル（虚弱）予防」と「認知症予防」の二つを目標にしています。

人が老化を意識するきっかけに、もの忘れ「面倒くさい」という意識が関係しているという説があります。

「面倒くさい」から始まり「顔は覚えていますが、名前を忘れた」「親友なのに、咄嗟に名前が出せない」「思い出すのも面倒くさい」となります。

怖いのは、この「面倒くさい」が認知症につながっているかもしれないということです。

面倒、面倒といっただけで会話や外出も減れば脳循環もますます低下し、脳にゴミがたまってきて、それが認知症を引き起こします。

コロナウィルス感染症に気を付けながら、外に出ることも考えてみてください。



パン作り、バイキング、コーヒー焙煎、ノルディックウオーキングなど、紙面上では紹介しきれないプログラムを多数ご用意しております。それぞれのプログラムに目的と効果を設定して、プログラムを行う事で日常生活動作の訓練を楽しみながら行う事ができます。

20種類以上の選択プログラム

「なじみの作業記憶」を活用
認知症の人は、なじみのない行動は苦手で、目的や手順を説明されても理解が難しかったり、忘れてしまったりして、混乱・困惑し、時にはやらかしていることへの怒りを感じることもあるでしょう。

一方、積み重ねてきた作業を体が覚えていたりすることもあります。認知症の人は、そうした「体で覚えたこと」「なじみの作業」は、失われにくい傾向があり、生活リハビリではまさにその人のなじみの作業を行います。

慣れた行動、わかりやすい目的のため、前述のような感情にとらわれずにすみます。



ご利用のご相談はLINE
またはお電話でお問合せ下さい！
☎0228-24-8456